

MAENAN SAH Journal Vol.1

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ June 1st, 2023

令和5年度より、群馬県教育委員会から『SAH (Student Agency High School)』の指定を受け、『自ら考え、判断し、行動できる生徒』の育成を目指します。『予測困難な時代』のなかで『生きる力』を育むため、『認知能力』に加え、『非認知能力』の育成に取り組みます。

*Agency・・・自分の人生および周りの世界に対して、よい方向に影響を与える能力や意思を持つこと



本校の『グランドデザイン』のなかにも、すでにたくさんの『非認知能力』が！

『IQ』や『学力』といった『テストなどで評価している能力』を『認知能力 (cognitive skills)』と言います。

一方、『物事に対する考え方』、『取り組む姿勢』、『行動』など、『日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力』を『非認知能力 (non-cognitive skills)』と言います。「非認知・能力」ではなく、英語表現のとおりに「非・認知能力」です。

★なぜ「非認知能力の育成」が必要なのか？★

急激な社会の変化 ・ 低迷する経済 ・ 急激な人口減少
従来のビジネスモデルの変化 ・ 終身雇用制の崩壊
多様な価値観 ・ 答えのない多くの社会課題 …

『主体的』に『自分の頭』で『考え、行動できる人材』の育成

★今後、『さまざまな取組』を開始いたします！★

●生徒指導主事より『朝の身だしなみ指導』や『交通指導』の変更、『ツブ〇ク』と呼ばれる髪型に対する指導の変更について、すでに全校生徒にお伝えしました。『学校が指導する』ことに変更はありませんが、日々の生活を通し、『生徒に考えさせ、判断を促し、自分を律する能力』の育成を目指します。

●進路指導部より、次回の『学習量調査』において、『学習量』の定義の確認を行う予定です。ここで計測する学習量とは『授業以外のすべての学習時間』を指します。すなわち、『朝早く登校し自習した時間』や『電車の中で学習した時間』、『家で夕食ができてあがるのを待つちょっとした時間』も含まれます。『忙しい高校生』にとって、そういった『スキマ時間』を有効に活用できる能力は必須です。すなわち、『工夫の見せどころ』なのです！まずは、『この能力』を育成すべく、前南は動き出します！生徒のみなさん、各自の『工夫』を發揮し、『自ら考え、行動』してみてください！もちろん、迷った時などには積極的に先生方に助言を求めましょう！それも『自ら考え、行動する』ことに含まれます！

文責：星野 亨（教頭）

★校長より★

『非認知能力育成』と聞くと、なんだか難しそうだと思うかもしれません。でも皆さん、思い出してください。前南ではコロナ禍における3年間、文化祭やスポーツ大会、修学旅行やスキー教室等、実施するには何が必要で何をしなければならないかを生徒の皆さん自ら考えて乗り越えてきたはず。今後さらに前南では、生徒の皆さんに「どうする。どうしたい。」という言葉キーワードに『後出し指導』を徹底していこうと考えています。さあ、自分の考えを、声を出して伝えましょう。

校長 関根 正弘

